じゅんぷう広報誌（季刊）

えがお

第61号
令和5年
6月1日発行

発行元
（福）堀川健康会
介護老人保健施設
じゅんぷう広報委員会
平成二十年三月一日創刊

理事長より　ご挨拶

寒い冬の後の新緑の好季は、あっという間に過ぎ去りました。穏やかな春日は短期で過ぎ去り、夏の蒸し暑さが全国的に拡大し、日本に四季の良さが無くなってしまいそうな風情です。

一年の季節変化は、世界的に見れば夏・冬の二季の国が多く、日本は春・秋の期間が長く、世界的には例外的に穏やかで過ごしやすい国でした。しかし、近年の我国をみてみますと、一年二季の多数の他国と同じような気候変動となってきています。この気候変化も少なからず地球温暖化の影響を受けているようです。

さて、コロナ感染症ですが、当地京都でもやや下火の傾向といわれていますが、第八波が「収束した」と確信できる程、安定はしていません。ウィズコロナの状況に、医療・介護関係者は当然のことながら、各業界の関係者も叡智を出し合って、ウィズコロナ、アフターコロナの医療・社会状況を国民あげて、作り上げていかねばならないでしょう。

五月五日、世界保健機関（WHO）のテドロス・アダノム事務局長は、新型コロナウイルスの「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を解除すると発表しました。また、日本は五月八日、新型コロナウイルス感染症を感染症法の分類上、二類から五類へ移行し、政府対策本部も廃止しました。コロナ対策が政府だけのものでなく、個人や事業所の判断に委ねられる事となりました。このままで、世界的にも国内的にも鎮静化するとは信じがたいですが、祈るような思いで日常の医療・介護各種事業を進めるしかありません。

「朝日の昇らない日はない」と信じて！

理事長　近藤　泰正

相談室よりこんにちは

【介護保険負担限度額認定証をお持ちの皆様へ】

介護保険負担限度額認定証の有効期間は令和五年七月三十一日までとなっています。更新手続きはお住まいの区役所（保健福祉センター健康長寿推進課）の窓口、又は郵送でも行えます。更新手続きをお忘れにならないように、ご注意下さい。

手続きについてご不明な点がございましたら、じゅんぷう相談員（中村・盛川）までご相談下さい。

※介護保険負担限度額認定証とは、介護保険施設の入所や短期入所時に居住費や食費が減額になる書類です。

厨房コラム

【五月の選択メニュー・『木の葉丼』について】

じゅんぷうでは、奇数月に「選択メニューの日」を設けています。五月は、『木の葉丼』と『牛丼』からお選び頂きました。

木の葉丼とは、細長く切った蒲鉾に、甘く炊いたシイタケ・青ネギを卵と出汁でとじてご飯に乗せたものです。名前の由来は、具材を『舞い散る木の葉』に見立てた説や、最後にのせる三つ葉が木の葉に似ていた説など諸説あるようです。ご利用者様から「久々に食べたい」とご要望を頂いたメニューの一つで、地元の方には馴染みの深い、京都のローカルメニューです。

ご利用者様からは木の葉丼について、「懐かしい」との声を多くお聞きしたほか、「昔は蒲鉾がご馳走だったのよ。蒲鉾がお弁当に入っていると嬉しかったのを思い出すわ。」、「油もものを使わないのが木の葉の魅力。あっさりして美味しいよ。」と教えて下さる方もおられました。

牛丼については、牛肉を新玉葱と一緒に煮込み、ご飯に合う甘辛い味付けでご提供しました。

木の葉丼

メニューを見て、選んで頂いています。

日々、心を込めて調理しております。

（株）ニチダン　厨房職員　写真左より、
浅田(栄養士)、山川(管理者)、並木(栄養士)

じゅんぷう取り組み紹介

【ＥＲ（救命救急）研修】

全ての職員を対象に、ＥＲ（救命救急）研修を実施しています。開設以来十八年間継続している研修であり、職員は年に一回必ず受講し、技術を身に着けています。

救急救命のポイントの一つは、一人で対応するのではなく、職員同士が連携して命を守ることです。『いざ』という時に落ち着いて対応するためには、全ての職員が物品の場所や一連の流れを把握しておく必要があります。

研修の講師は看護師が担当し、気道確保、心臓マッサージ、ＡＥＤ（自動体外式除細動器）使用などを受講者が学んでいます。

職員紹介

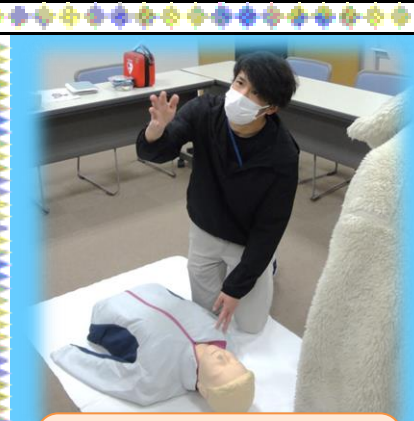
今号でのご紹介は、入所各フロアに所属している、看護師三名です。自己紹介形式でご紹介致します。ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

写真左より
五十子、中村、吉原です♪

吉原　すみれ（よしはら　すみれ）　三階フロア
ご利用者様に安心して頂ける存在になれるように、頑張りたいと思います。犬と猫が大好きで、二匹の愛猫と一緒に暮らしています。猫と一緒に寝ている時間が最高に幸せです。

中村　莉奈（なかむら　りな）　四階フロア
ご利用者様の笑顔と「ありがとう」の言葉が仕事のやりがいです。のんびりと過ごすことが好きで、休日は、音楽・映画鑑賞や、編み物をしています。ロックバンドも好きで、コロナ前は、よくライブハウスに行っていました。

五十子　裕紀（いかご　ゆうき）　五階フロア
ご利用者様はもちろん、職員からも気軽に声をかけてもらいやすい看護師になりたいです。ヨーロッパの街並みが好きで、よく海外旅行に行っていました。フランスの世界遺産、『モン・サン・ミッシェル』が特に印象に残っています。



「人を呼んで下さい！」
「AEDを持って来てください！」
と伝えることも訓練しています。

垂直に腕を伸ばすなど、適切な手技について、看護師から助言しています。

ご利用者様川柳・俳句

梅雨が過ぎ　紫陽花と別れ　蝉の声
四階フロア　H様